これはもう沖縄いじめ

表題と写真は毎日新聞１月 20 日夕刊「特集ワイド」である。昨日「時事英語に挑戦」で取りあげたばかりだが、もう一度「いかがなものか」と紹介したい。

政権の方針に反対する知事とは「会わない」だけでなく、15 年度当初予算案は政権のメッセージをより鮮明にした。沖縄振興予算は 5 年ぶりに減額され、辺野古へ移設する「代替施設建設費」は倍増された。沖縄を地元とする国会議員の１人は「移設に反対する翁長知事へのある種の『見せしめ』であるのは明らかだ」と話す。

毎日新聞　2015年(平成27年)1月20日(火)　特集ワイド　2

特集ワイド

「特集ワイド」へご意見、ご感想を　tyukan@mainichi.co.jp　ファクス 03-3212-0279

これはもう
沖縄いじめ

いかがなものか

安倍晋三政権による沖縄県へのつれない態度に、怒りの声が上がっている。安倍首相や菅義偉官房長官は、政府が進める米軍普天間飛行場（同県宜野湾市）の名護市辺野古への移設に反対する翁長雄志知事とは面会せず。民意を尊重するかのような予算案を決める。これは「沖縄いじめ」ではないのか。【横田愛】

約1年前、仲井眞前知事（右）時代には、笑顔で言葉を交わしていた菅官房長官（左手前）と菅官房長官だが……＝首相官邸で2013年12月25日、藤井太郎撮影

厳しい表情で内閣府を後にする翁長知事。この日も面会には応えなかった＝内閣府で14日、久保玲撮影

この5年の沖縄振興予算の推移

政権の対応への戸惑いは、身内にもある。自民党の国場幸之助衆院議員を訪ねた。12年に衆院移設を公約にして初当選したが、翌年、石破茂幹事長（当時）らから辺野古へ移設する政府方針を受け入れるよう迫られ、「21世紀の琉球処分」と言われる経験をし

「沖縄県民投票」戦い方 翁長知事「強制ノー」

翁長知事の埋め立て承認取り消しに対抗し、政府が沖縄県民投票の実施を求めた訴訟で、県民投票の投票資格者を「18歳以上の日本国民」とする県の条例案について、県議会の与党会派が、投票資格者を「18歳以上の県内在住者」とする修正案を提出する方針を固めた。修正案が可決されれば、県民投票の実施を求めた訴訟は、県が訴えを取り下げる見通しだ。

鳩長知事の上京と政権の対応

・2014年12月24～26日（就任あいさつのため上京）
首相、官房長官、外相、防衛相らに面会を打診したが、日程調整がつかないとして実現せず。沖縄・山口沖縄・北方担当相と面会。
・15年1月6～8日（要望活動のため上京）
要望先の西川公也農相側から連絡がなく、待機したが結局会えず。首相や官房長官らに、辺野古埋め立ての承認取り消しを伝えていた。
・15年1月13～14日（15年度当初予算案の閣議決定にあわせ上京）
首相や官房長官らに、政府側と丁寧にあいさつや予算配分への謝意を示すことを希望したが、会えたのは内閣府政務官と官房副長官のみ。
・15年1月16日（予算案決定への謝意を示すため上京）
山口沖縄・北方担当相と面会。「苦しみの年月を忘れた」（翁長知事）

＊沖縄県への取材を基に作成

政権の方針に反対する知事とは「会わない」だけでなく、15 年度当初予算案は政権のメッセージをより鮮明にした。沖縄振興予算は 5 年ぶりに減額され、辺野古へ移設する「代替施設建設費」は倍増された。沖縄を地元とする国会議員の１人は「移設に反対する翁長知事へのある種の『見せしめ』であるのは明らかだ」と話す。

「安倍政権はあまりにも子どもじみている。本当に先進国の政府なのか？とすら思います」。そう憤るのは地場ホテル大手「かりゆしグループ」最高経営責任者の平良朝敬さんだ。「政府の立場にあるのに、自分の意に沿わない人と会わないというのは、あまりに私的な対応ではないでしょうか。社会常識としてもおかしいですね」と続ける。

今、県民の意識が変わってきていると感じる。「自己決定権を持つんだと、県民が目覚めています。『沖縄は中央の言いなりにはなりませんよ』と。にもかかわらず官邸、特に菅官房長官はこのことを肌で感じていない。沖縄は『カネで脅せばまた何とかなびいてくる』と思っているのではないでしょうか。しかし、県民はもうそれには乗りませんよ」

東京大の高橋哲哉教授も「これはもう、沖縄に対する政権のパワーハラスメントです」と厳しく批判する。「沖縄では昨年、名護市長選、同市議選、知事選、衆院選と、4 つの選挙で『辺野古移設反対』という民意が明確に示された。ところが、政権はそれに全く聞く耳を持たない。とても民主主義国家とは思えない」

そしてこう継いだ。「『本土』と沖縄の間のギャップ（溝）は、かつてないほど広がっている。民意を無視され続ける沖縄の人たちが『日本国の１つの県としてやっていくのは無理がある』と考えるなら、『独立』という話が出てきてもおかしくありませんよ」

中日（東京）新聞「特報」とともに、毎日新聞「特集ワイド」はホットな話題に鋭く迫ることが多く参考になる。

（2015 年 1 月 24 日）